

を得たり

●八重山列島の魚類毒殺法

淡水産の魚類には總て植物の莖葉を用ふ餘は石垣島名藏河畔の泥沼に於て土人が野生の蓼葉を細挫せしものを投して鮎鰻類を捕ふるを目撃せり又フクロ木(霸王樹科植物)の枝葉を細挫して毒殺するの法は沖繩島と一般なり又海魚を毒殺するには沙喫類の煎汁(沙喫の一種を細挫し釜中に投して煮るときは紫黑色辛辣性の汁を得へし)を用ひ干潮の期に乗し沿岸の岩礁間に投入するに在り此法は極めて完全なるものにして分量海水に對し大凡一萬分の一を入るときは生命を存するもの殆ど稀なり (琉、黒)

●儒艮の漁場

八重山列島中西表島の北岸及東岸を以て此動物の漁場となす昔時琉球より支那へ此動物の皮肉を貢せし頃は新城島に於て専ら漁獲せしものと見ゆ近年は西表島祖納^{ソナイ}近傍に於て淺灘に集るものを(水淺く波穩にして海藻を生ずるの區は彼れか好棲場たり)捕ふ捕獲の法は大なる疎網を用ひて搦め或は淺斥の區に驅逐し

て撲殺す此動物は土俗ザン或はザンノイナと稱し珍膳の一として賞用せらる石垣島の四箇村に於ては此物の乾物(皮)を販賣す一斤の價十二錢なり 琉、黒

●マツカンの捕り方

此大寄居蟹の事に就ては田代安定氏已に本紙上に詳説せられたれは今復贅せず此動物の最も多きは宮古列島にては多良間島八重山列島にては黒島新城島波照間島なり此他の島々にては容易く得べからず余は本年八月新城島に渡航し土人を僦ひて捕獲を試み僅に三四時の間に巨大なるもの四十三頭を得たり捕獲の法は極めて無造作なり夜中炬火を點し沿岸の林中を搜索するときは彼は食を索むる爲め既に棲穴を辭し去りて多くは露兜樹或は榕樹等の枝幹に攀ち上り居れり俄然炬火を差し付くるときは僻易して遁るゝ事なく兩螯を擧げて大に勇を鼓するものゝ如し或は甘藷畑中をも徘徊せり土人は徒手もて巧みに攫み取れども中々危険の業なり余は彼れが螯力を試みんと欲し宿に歸るの後イーグルの符號ある木筆を取て銚ましめしに容易に寸斷したり南洋